



聞く力

沼津市校長会長 横山 尚博（沼津市立第五中学校）

大会の応援のため、東海道線に乗り藤枝市に向かった。車内で、このようなシーンに遭遇した。この日は、猛暑日となり、車内はエアコンがかかっていたが、乗客が多かったせいもあり、とても暑く感じた。途中の駅で、母と子の二人が急いで乗り込んできた。ホームを走ってきたようで、母に手を引かれていた男の子は、かなり汗をかいていた。電車が動き始めると、3歳ぐらいのこの子は、急に激しく泣き始めた。甲高い声は、満員の空間に響き渡った。母は、すっと抱き上げ、声をかけた。何を話していたか分からないが、男の子は母の顔を見ながらひとしきりしゃべると、すっと泣き止んだ。…お母さん、すごいなあ。このシチュエーションの中、落ち着いているなあ。きっと、いつも子供の話をこんな風に聞いてあげているんだろうなあ。…私にとって、母の一瞬の動きは『神業』と映り、またたく間に胸が熱くなるのが分かった。

教室で、「聞き方のあいうえお」という掲示物を目にすることがある。

あ：相手の顔を見て **い**：いい姿勢で **う**：うなずきながら **え**：笑顔で **お**：終わりまで聞く

日々の授業の中では、子供の問いから生まれた課題を、少人数で議論する場面が多い。参観していると、子供たちの話の聞き方に心を奪われることがよくある。聞き手が話し手の考えを、上手に深く聞いていく。少し前かがみになって、やわらかな視線と穏やかな表情で、うなずきながら聞いている。しかも、話し手のしゃべりを遮らず最後まで聞き、質問を入れながら引き出している。話し手は、抱き上げられた男の子が、母にそうしてもらったように、安心して自分を受け止めてもらっている。その聞き方の巧みさに、そして信頼感を確かめ合いながら、学習を進めていく姿に、深い感動を覚えてならない。

学校は、子供一人一人が、社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を発揮し多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となるために必要な力を育むことを目指している。激しい社会の変化の中、時代を超えて変わらない価値のある

ものがあり、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心は、その一つである。私は、ベースとなる大切な要素に「聞く力」があると考え、今後も未来を担う子供たちが、進んで挑戦できるような心理的安全性がある環境づくりに努めていきたい。



面接相談 & 電話相談

◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など、青少年に関する相談を直接（面接）または電話で行うことができます。



1 面接相談

◎相談受付時間…午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）Tel951-3440

「はばたき だより」第4号より

気候が涼しくなるこの時期は、心も体も少しずつリラックスできる季節です。一方で、お子様にとっては、新たな悩みや不安が増える時期でもあります。心の中に抱えていることがあれば、無理をせずに少しずつ向き合っていくことが大切です。

◆お子様のことで気になることがありましたら、電話で面接相談をお申し込みください。

☎055-951-3440 *月～金 9:00～17:00

青少年教育センター（沼津市八幡町97）

2 電話相談（愛称：やまびこ電話 951-7330）

◎相談受付時間……午前10時～午後7時 月～金曜日（祝日を除く）



情報コーナー

流れ星が消えるまでに

青少年教育センター 臨床心理士 石川 令子

今年の2月、久しぶりの流れ星に私は出会いました。とっさに願いごとを唱えること…1回半…！これはまぎれもなく自己最高記録でした。思わず小躍りしたくなる感覚を覚えました。そして、20年ほど前にラジオ番組「子ども電話相談室」で聴いた天文学者のことばを思い出しながら家に帰りました。

子ども 「あのう、流れ星が消えるまでに願いごとを3回唱えると叶う、って本当ですか？」

天文学者「すばらしい質問だね。本当だよ。君は、流れ星が消えるまでの時間ってどのくらいか知ってる？本当に短い、あっという間なの。そんな短い一瞬の間に願いごとを3回も唱えられる人は、普段からその願いを強く意識している人。願いを実現するための情報や突然現れるチャンスを掴みやすい人なんだよ」

ことばは20年の間に私の記憶の中で多少の変化はしていそうですが、このようなやりとりでした。その素敵な天文学者の名前を知りたくて、ChatGPTに聞いてみました。

すると、なんと「流れ星理論、福山雅治」と出てきたのです。10年以上も前から大学の心理学の授業でこのエピソードを紹介していた私は、そんなはずはないと思い、続けてChatGPTに「いつの放送？」と聞いたところ、「2023年1月7日、地底人ラジオ」と返ってきました。

結局、知りたかった天文学者にはたどり着けませんでした。が、「流れ星理論」という素敵な名前で人々に拡散されていくことに、私は希望を感じ嬉しくなりました。

流れ星は秋の季語とされています。空気が澄み渡る秋の夜空に流れ星を見つけて、願いごとを唱える子どもや大人がたくさんいるといいなと思っています。





【体験活動「はばたき」】

(通称：はばたき活動)

7/10(木)アイロンビーズ(5人)
9/11(木)源兵衛川散策(雨天中止)
9/24(水)プラバンづくり(5人)

はばたき活動は、1対1の面接相談とは違い、相談指導学級通所生や担当以外の職員とも関わる小集団活動です。

「アイロンビーズに挑戦」では、ドットを用いて事前に用意してきた絵を、ビーズを使って立体的に仕上げ、最【7/10 アイロンビーズ作品】後にアイロンの熱でビーズを固定する製作活動に取り組み、活動を楽しみました。



「プラバンづくりに挑戦」では、プラスチックの板に、用意してきた下絵を写し、それをオーブントースターで熱してキーホルダーにする活動でした。どの参加者も2～3個の作品を仕上げ、楽しく活動できました。

【9/24プラバン作品】

【相談指導学級】(通称：はばたき教室)

当センターを利用している多くの子供たちは、登校渋滞になった要因や家族以外の人とのつながりの減少などから、利用開始当初は、他者との関わりに不安を覚え臆病になっており、パーソナルスペースが狭くなっている傾向にあります。できるだけ早く距離を縮めたいところですが、急ぐあまり早いうちから過度に近づくと相手に不快な思いやストレスを感じさせかねません。そのため、最初は程よい距離感を保ち、良好な関係が構築できるまで焦らずゆっくり接し、距離を縮められるよう心掛けています。

利用する子供たちが学習以外に望む活動は、体を動かしたい、創作活動をしたい、みんなでゲームなどをして楽しい時間を過ごしたいなど様々です。できるかぎりその要望に応えられるよう、活動を工夫して運営しています。先日は「ピリヤード」がやりたいと、時間に間に合うよう通所し、楽しんで帰っていった子供もいました。

時間帯を決めて二つの部屋を自由に行き来できる「スタディルーム」と「わくわくルーム」では、小学生は「わくわくルーム」、中学生は「スタディルーム」を利用する傾向が見られます。子供たちには、センター利用の目的に応じて、二つの部屋を上手に使い分けてほしいと思います。

青少年教育センターの活動予定 (11・12・1月の主な活動) *天候等により、変更をすることがあります。

はばたき活動		補 導 関 係	
11月6日（木）	公園（鮎壺公園）で遊ぼう	11月8日（土）	高校生によるクリーン作戦 （予備日 15 日）
11月20日（木）	香陵アリーナでヨガに挑戦	11月14日（金）	補導委員会代表者会
12月 4日（木）	沼津市立図書館見学ツアー	12月 2日（火）	県内一斉冬季少年補導
12月17日（水）	竹スプーンづくり		
1 月14日（水）	新春お楽しみ会		
1 月20日（火）	コットンボールづくり		
中央街頭補導			
11月 4(火) 5(水) 12(水) 18(火) 19(水) 21(金) 25(火) 26(水) 28(金)			
12月 9(火) 10(水) 12(金) 16(火) 17(水) 19(金) 24(水)			
1 月 7(水) 9(金) 13(火) 14(水) 16(金) 21(水) 27(火) 30(金)			



補導記録より 7月～9月

- ・8月後半から、狩野川沿いや商業施設屋上、公園などで、複数の高校生カップルを見かけることが増えた。
- ・高校男子7名が遊びの延長で狩野川に入り、泳いでいた。安全を考え、すぐにやめるよう声をかけた。・ゲームセンターで、コインゲームをしていた中学男子1人は、コインを2カップ持ち、スマホを見ながら遊戯をしており、遊び慣れた印象を受けた。
- ・地区の夏まつり会場周辺などで、補導委員や小中学校の保護者、先生方と見回りを実施した。子供たちは、保護者と一緒にまつりを楽しんでいた。中学生だけのグループには、顔見知りの保護者らが声かけをした。
- ・自転車の逆走などは、年齢に関係なく多く見られたが、自転車の高校生が、ヘルメット着用、ライト点灯など、ルールを守って走行する場面も増えた。



【9/12 火曜補導】

補 導 の 目

7月特別補導と感謝状贈呈式

青少年教育センター 黒石 泰司 勝呂早奈恵

7月特別補導

7月の特別補導は二つあります。一つめは「県内一斉夏季少年補導・立入調査」です。これは、静岡県「青少年の被害・非行防止強調月間（7月）」を受け、非行防止と青少年のための環境整備を目的とした活動です。沼津市では、基準日を7月1日とし、市内18地区と駅周辺7コースに展開し、少年補導と店舗等への立入調査を実施しました。地区補導委員をはじめ、395名の皆様に参加していただき、充実した活動になりました。市内の少年補導では、不良行為は0件、青少年を見



【7/1 さんさん通り】



【7/27 グループ打ち合わせ】

守る「愛の声かけ」65件になりました。市内立入調査は、青少年に関係する業種81店舗を調査し、条例に基づく是正指導は3件でした。トレーディングカード（カードゲーム）の買取店が増加しています。二つめは「沼津夏まつり特別補導」です。230名の皆様に2日間に渡って巡回補導に参加していただきました。笑顔一杯の子供たちの姿を見守ることができました。

「県内一斉夏季少年補導・立入調査」及び「沼津夏まつり特別補導」に御協力いただいた地区補導委員、沼津警察署生活安全課・少年警察協助手・少年指導委員等、教育委員会・学校関係者・保護者・自治会関係者様、誠に

ありがとうございました。

感謝状贈呈式

今年度の感謝状贈呈式は、9月12日（金）青少年教育センター会議室で行われました。補導委員を6年以上務められ退任された3名の方に贈られ、当日は1名の方に教育長から感謝状を贈呈しました。代表者から「地区の仲間と無理せず活動したことで長い間補導活動が続けられました」との挨拶がありました。受賞された3名の方をはじめ、今年度退任された皆様、地域のために御尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

